

コロナ禍で、地域に直接うかがっての議会報告ができない中、  
那覇市では、YouTubeで議会報告の動画を公開しています。

## 市営住宅で連帯保証人が不要になりました

令和4年4月から市営住宅に入居するにあたり、  
連帯保証人を立てる必要がなくなりました。

これまで入居のハードルの1つだった連帯保証人  
制度が改正されたことで、居住の権利が奪われて  
しまう状況が改善することが期待できます。

## 「那覇市動物の愛護 及び管理に関する条例」 と本市の取り組みについて

令和3年6月1日から「那覇市動物の愛護及び管理  
に関する条例」が施行されました。

条例制定の背景や中身から、本市の取り組みにつ  
いて報告しました。猫の問題は、人の問題、地域  
の問題という認識に立って、取り組むことが今後  
重要となります。



## 議員って普段何してるの？ 日々の活動をSNSで報告・共有しています！

選挙の時は目立つけど、当選した後、議員って  
何してるの？と疑問に思ったことはありませんか？

普久原朝日は、議会の仕組み、議会の日程や、  
議会質問、活動の内容などをわかりやすくお伝え  
するため、日々の活動をSNSで発信しています。  
これからも、顔の見える議員を目指して頑張ります！

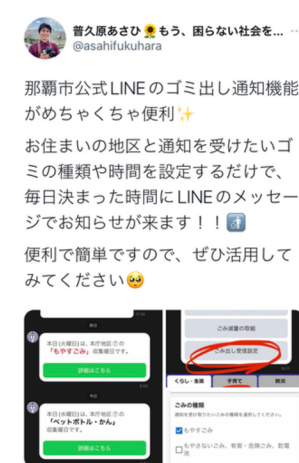
まずはツイッターとインスタがおすすめ！

Twitter @asahifukuhara Instagram @\_asahi\_

▼Instagramと  
Facebookストーリー



▼Twitter



# あさひ

2022年5月号

那覇市議会議員・写真家 普久原あさひ活動報告



## 2021年初当選から、日々活動中！

はいさい！みなさんこんにちは。那覇市議会議員で写真家の普久原朝日です。  
昨年7月の選挙にて26歳最年少で初当選させていただきました。地域のみなさまに支  
えられながら、早くも半年以上が過ぎました。新型コロナウイルスが猛威を振るい続  
ける中、議会も3つの定例会と臨時会がありました。日々活動を通して様々なご意  
見、ご要望や相談を受け、那覇市の行政へ繋いでまいりました。

## 「もう、困らない社会をつくる」

選挙の時に掲げた言葉を実現するため、

初心を忘れず、様々な分野に取り組んでいます。  
福祉政策をはじめ、芸術文化、オープンデータの活用推  
進、教育から防災など、現場の声に耳を傾け調査をし、  
幅広い分野に携わっています。所属する委員会がハード  
面に関わるため、道路の状況、街路樹や景観などにも街  
を歩いて意識するようになりました。その都度改善に向  
け取り組んでいきます。

所属・役割など

- 都市建設環境常任委員会 ●議会運営委員会
- 広報参画部会 ●なは市議会だより編集委員会
- 立憲民主・社大会派 幹事長
- 沖縄立憲民主党つながる本部担当



普久原あさひ



SNS・最新情報はここから！



ご相談・ご連絡・お問い合わせはこちら

〒902-0067  
沖縄県那覇市安里381 1-D (栄町市場内)

080-3982-4178 asahi.f.info@gmail.com

## これまでの主な実績と取り組み

### 新型コロナワクチンが、接種したいすべての人にちゃんと届くように。



- ・予約なし、接種券なしでの接種、商業施設での接種を議会で提案→実現し、若年層へ大きな効果
- ・ホームレスの方々への巡回接種推進

那覇市議会議員としての任期が始まって最初の2021年9月定例会では、新型コロナウイルスのワクチン接種推進に向けた質問をしました。生活困窮者食料支援の現場には、コロナ禍で身動きが取れなくなった方が多くいらっしゃいます。県外から沖縄に来てコロナ禍が襲い、帰られずにいる人、住む家がなくホームレス状態にある人など、那覇市に住所がないためにワクチン接種の情報に触れられずにいる方々も少なくありません。それまでは、住民票のある市町村に問い合わせ、接種券を発行しなければワクチン接種が受けられなかったのですが、一般質問で取り上げることで「住所地外接種の申請により接種を受けられること」、申請を行うこと自体が困難な場合は、申請を省くことも認められることを確認しました。

さらに、先の予定を立てづらい方々でもワクチン接種が受けられるように、予約なしワクチン接種、接種券を持っていなくても接種会場に行けばその場で再発行して、すぐに気軽に接種ができるような取り組みを提案いたしました。その後、那覇市は11月7日に那覇メインプレイスにて、予約なし、接種券を持っていない方も受けられるワクチン接種の開催につながりました。



当初の想定が60人程度だったところ、開始前から多くの方々が会場を訪れ、最終的に143人の方に接種を行ないました。10代から30代までの若い世代が77人で全体の53.8%を占めるなど、特に接種率が伸び悩んでいる若年層へ大きな反響がありました。

### 学校現場の環境改善、教員の待遇改善

- ・教師の大きな負担である部活動問題→部活の顧問制度は義務ではないと確認→実態調査の実施へ
- ・ヘイトスピーチ問題への取り組みを推進

2016年に文科省が行った調査によると、小学校では33%、中学校では57%の教員が、「過労死ライン」とされる月80時間の時間外労働を行っています。学校や教員に求められる役割が増え続ける中、感染症対策やオンライン授業の対応も加わり、依然として厳しい労働環境が続いています。

近年、教員の訴えの中でもかなりの負担となっている部活動について、部活動支援員制度の拡充、地域移行を含め議論は高まりつつあります。9月定例会での質問では、全員顧問制度には法的根拠はなく、あくまでも教職員の自主的な活動であり、部活動を受け持つか否かで人事評価は左右されるものではないこともわかりました。しかし那覇市内の17校ある全市立中学校において、顧問を引き受けるのが前提の「全員顧問制度」になっていることが明らかになりました。

教員の負担を軽減するためには役割を分散することも求められると考えます。教員の働き方、そして学校教育のあり方を改善するため、那覇市においてはまずは、現状把握に努めるよう後押ししました。

ヘイトスピーチ問題については、沖縄県でも条例を制定する動きがあるなど注目されていますが、この問題に特化した授業は行なわれていません。GIGAスクール構想の下、タブレット端末の活用など、子どもがインターネット上の情報に触れる機会が増えています。子どもたちがヘイトスピーチやネットいじめの加害者にならないためにも、事前に十分な教育を行うべきであるでしょう。部長答弁では「ヘイトスピーチ問題やネットいじめ防止の動画コンテンツ等の内容を検証し、児童生徒や教職員が活用できるものがある場合には、各小中学校への情報提供も可能」とのことで今後の取り組みが期待されます。

### 生活保護制度の理解向上へ

- ・生活保護受給ハードルを下げるために、扶養照会しなくてよいケースについて周知を提案→「生活保護のしおり」に明記されることに。→市内モデル世帯の資料が作成され、活用されています。

生活の重要なセーフティーネットである生活保護制度ですが、どういう状況なら受けられるのか、その制度の仕組みも分かりづらく、誤解も生まれやすいのではないのでしょうか。「受けようとしたら親戚中に知られてしまうかもしれない」と思い、行政への相談を躊躇してしまう方も多くいらっしゃるようです。実際の事務負担を考えれば、費用対効果が疑問視されており、国会でも必要性が議論されている「扶養照会」について那覇市の現状を聞きました。

令和3年12月3日時点における令和3年度の扶養照会は792件、そのうち経済的援助が可能と回答した件数は10件で、その10件の中から経済的援助に結びついた事例はたった3件とのことでした。これまでも「扶養照会」については那覇市議会でも、やめるべきだ、見直しを国に要望すべきとの意見が出ているところです。

そもそも「扶養照会」は必須ではなく、例えば高齢

### 那覇市「生活保護のしおり」はこちら

▶生活保護の制度や「モデル世帯の最低生活費の例」について、わかりやすく説明しています。



者・未成年者・施設入所者等、暴力・虐待等がある場合、金銭トラブルや縁切り等の著しい関係不良である場合などは、しなくてもよいとされています。このように、「扶養照会を行わなくてよい場合」について、ホームページで確認でき、窓口でちゃんと説明を受けられるようにするために「生活保護のしおり」に明記していただきました。さらに、どれくらいの生活費だと受けられるのかイメージしやすくなるように、モデルケースを示した資料を作成、活用していただけるようになりました。

他にも、生活での困りごとや不安の相談から自立までを包括的に継続して支援に繋がる、「那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター」の周知広報拡充として、コンビニやスーパーへの案内チラシの設置も提案しました。生活保護制度とあわせて、困ったときには市民の近くに行政のセーフティーネットがあるという認識が広がるよう引き続き取り組んでいきます。

## 他にも、こんなことに取り組んでいます！

### オープンデータ化の推進

- ・先進事例を踏まえ関係課との調査研究推進、オープンデータ研修ポータルの活用を提案→庁内各部署でオープンデータに関する研修実施へ

### 防災行政への取り組み

- ・情報発信方法の強化→サイレンが聞こえづらい地域や、聴覚に障がいのある方々への支援強化→プッシュ型の通知の活用へ

### 那覇市内の地下壕について

- ・埋戻しの現状確認と、証言の記録→積極的な平和学習の推進→地下壕にまつわる証言の収集の実施へ

### 動物愛護行政の推進

- ・飼い主のいない猫対策（さくらねこ活動）の強化を推進
- ・多頭飼育問題の福祉との連携推進を提案
- ・どうぶつ基金活用を推進

### なは一と周辺における文化芸術を活かしたまちづくりの推進

- ・地域の店舗などとの協力を提案→施設で各店舗の情報提供・連携を実施

### 世界のウチナアンチュ大会について

- ・交流事業の確認
- ・お互いに学びあえるような企画の提案→文化団体とも連携して取り組む

ご相談・ご連絡・お問い合わせはこちら



〒902-0067  
沖縄県那覇市安里381 1-D (栄町市場内)



080-3982-4178



asahi.f.info@gmail.com

普久原あさひ



SNS・最新情報はこちらから！

